

認定NPO法人まちぽっと 休眠預金助成事業

新生児ファミリーミニステイ実現
のためのプラットフォームづくり



発表 : 細川彩音

2020（令和2）年度の成果

（9回の実行委員会+他自治体2回の視察+調査報告書+事務局会議）

とにかく毎夜、濃い時間を過ごしました！

多様な
推進主体
と

- ◆ 実行委員6人
- ◆ 評価委員4人
- ◆ オブザーバー12人



オンラインながらも
多様な
先進事例
に

- ◆ 海外事例
 - ◆ 国内事例
- うち3自治体の事例
を学び交流を深める

- ◆ 緊急支援の追加助成
 - ◆ 現場から
 - ◆ 委員からの示唆
 - ◆ 実態調査から
- 課題がより浮彫になり、具体
のスキーム案が固まってきた！

多様な
可能性
へ

補足資料) 昨年度1年間の成果の共有

	日時	内容	学べたこと、共有できた成果
1回実行委員会	2020年7月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業説明および今後の進行 ・ 休眠預金制度についての説明 ・ 委員からの自己紹介 ・ 役割分担、タスク整理 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 委員各位から自己紹介と今事業への期待 ■ 事業の申請意図、目指すべき姿
2回実行委員会	2020年8月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本助産師会副理事岡本氏による産後支援の現状発表 「看護師が行う産後ケア」 (岡本) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 産前産後をとりまく我が国における支援 その変遷・状況・展望について ■ 法改正の方向性と課題を知る
3回実行委員会	2020年9月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 産前産後にまつわる状況の海外比較 (細川) ・ 横浜市における母子保健 産前産後ケアの現状と展望 (荒木田) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 諸外国での取組を把握し我が国で参考になるか類似はあるか比較する ■ 数値で見る母子保健分野の位置づけ ■ 市の産前産後事業に対する予算と執行について、施策推進状況と課題を知る
4回実行委員会	2020年11月2日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国内の産後ケア施設の紹介 (細川) ・ 子育て期の切れ目ない支援と被援助志向性 (勝山) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 国内での先駆的取組み事例の一覧を共有 ■ 被援助指向性を高めることの必要性和地域で 産後ケアする事の意義
5回実行委員会	2020年12月2日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 11/19「世田谷区立産後ケアセンター」オンライン視察報告 (細川) ・ 「助産師として地域の子育てについて考える」 (野尻) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 助産師としての地域支援、母親のケアだけでなく家族支援、思春期教育の重要性の自身の事例紹介。

6回実行委員会	2021年1月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・12/15佐賀みやき町産後ケアセンター報告 ・「ソーシャルサポートに着目した子育て支援実現に向けた検討」（中根） 	<ul style="list-style-type: none"> ■子育て中他社との交流が親子に与える影響についての研究事例から、ピアサポート、ソーシャルサポートの重要性を紹介。
7回実行委員会	2021年1月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・港北区4ヶ月健診調査報告（勝山） ・活動実践報告「ケアの社会化としての産後ケア事業の可能性」（堀） 	<ul style="list-style-type: none"> ■健診時調査で見えたコロナの影響 ■ケアの相互性やひろばの「社交」の重要性、切れ目ない支援を踏まえ本事業が目指す方向性
8回実行委員会	2021年2月5日	<ul style="list-style-type: none"> ・「人生100年時代 家庭訪問と両親教室を通じて」（高橋） ・「利用者支援事業を基盤として多機能型支援と母子保健のあり方」について（奥山） 	<ul style="list-style-type: none"> ■訪問支援の実態と両親教室から見える対象者の特性、本事業と医療・行政との連携について
9回実行委員会	2021年3月10日	<ul style="list-style-type: none"> ・「家庭医の仕事と支援」（阿部） ・子ども、家庭支援の情勢報告（奥山） ・新年度の年間予定と上半期の日程調整（原） ・緊急追加支援の活動状況報告（渡部） 	<ul style="list-style-type: none"> ■全人的に診療する家庭医の医療モデルや実例。多業種支援の必要性。 ■利用者支援事業の状況と今後の流れ、国内の産後サポート事業の実例。
視察	2020年11月19日	世田谷区立産後ケアセンターでの取り組み センター長：永森久美子	<ul style="list-style-type: none"> ■公的ケアセンターの、区との連携や利用率の高さについて共有。
視察	2020年12月15日	みやき町産前産後サービスステーション（NPO法人きゃんどるハート）での取り組み（佐賀県） 代表理事：永瀬千枝 事務局長：前田優一	<ul style="list-style-type: none"> ■NPO法人委託の実例、利用の導入の工夫や都市部と地方での利用者の特性の違いなど。

産前産後サポート＝地域版ポピュレーションアプローチを目標にした
緩やかな転換＝切れ目ない支援の具現化を目指す！

2年目
からの
チャレンジ！

拠点で既に実施しているもの➡まだ「点」でしかない
医療（産院）との連携が可能か！？

民間商業施設との連携が可能か!?

今、活躍してくれている子育て支援人材の接続が可能か！？

モデルから本格実施の際の財源は何か!?

資源のHUBになれるコーディネート機能とは！？

資源を往来する移動支援も合わせて考えていけるか！？

アフターフォロー（個別家庭支援）!?

選択・アクセス権限は家庭側に持たせられるか！？

3つの柱で牽引

他自治体から
いよいよ市域
(地域)へ

A:市内の類似先行事例から学ぶ

- 宮下助産院
- 山本助産院
- 他市内・区内調整
(新設のクリニック)
現在区内の産院との連携
はどろっぴ内パートナー
が連携

外部からの
確固たる助言を

B:方向の照準を定め 採算性や実現性の フィージビリティ スタディ

- 評価委員からのアドバイス
- 経営的アドバイス

調査機関との
連携を図る

C:当事者家庭への ニーズ調査、ヒヤ リングの実施

- 下期以降の質的量的
アンケート調査の実施
- 集計・分析・まとめ